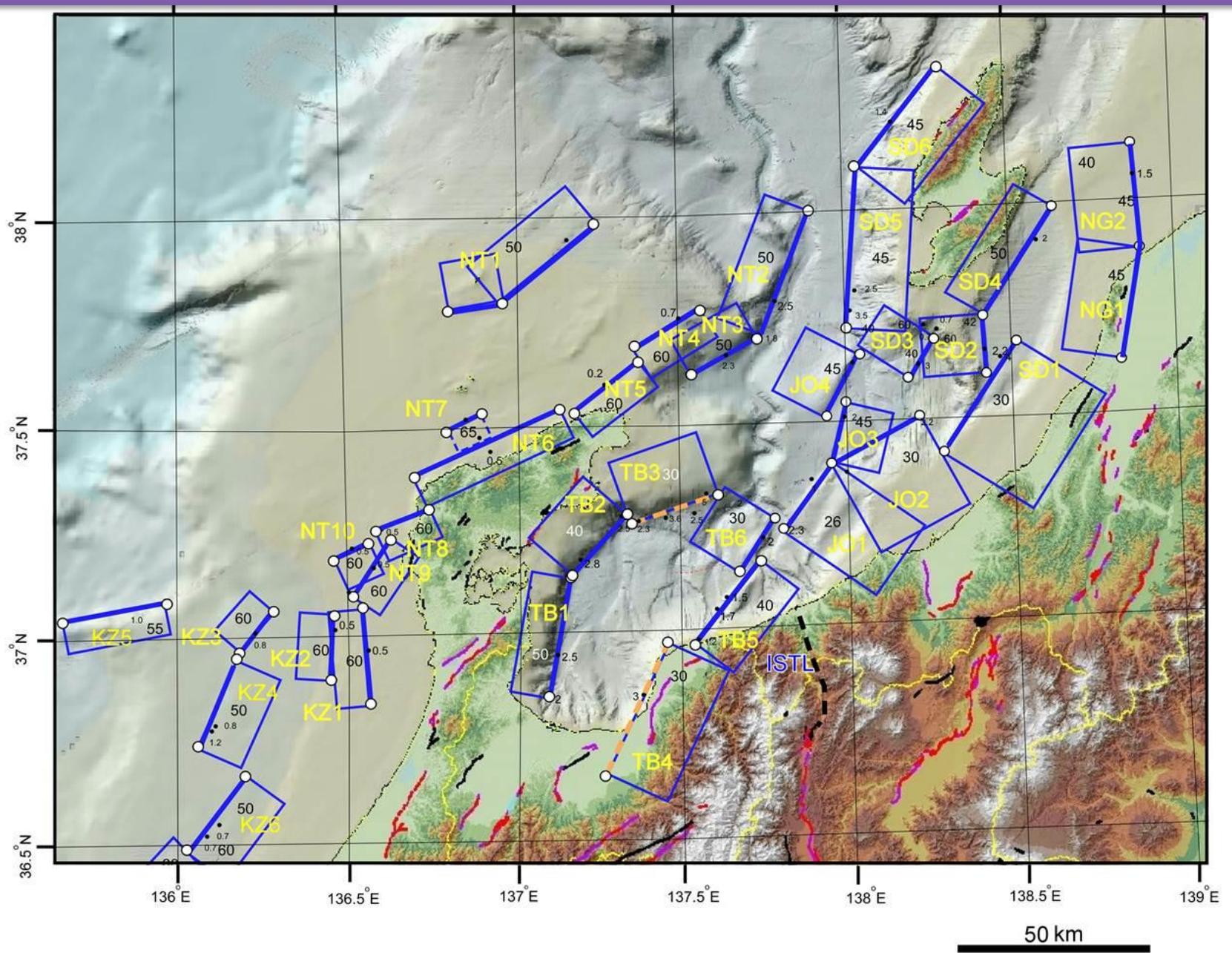


日本海地震・津波プロジェクトによる富山県周辺の断層モデル

東京大学地震研究所

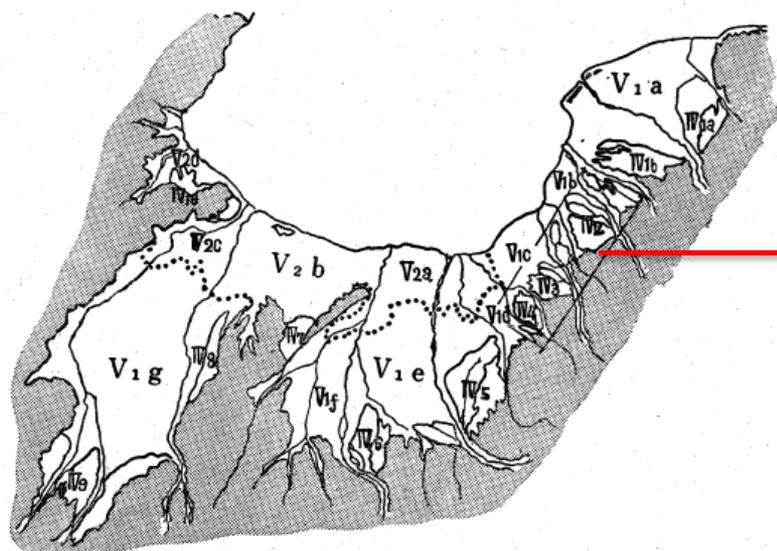
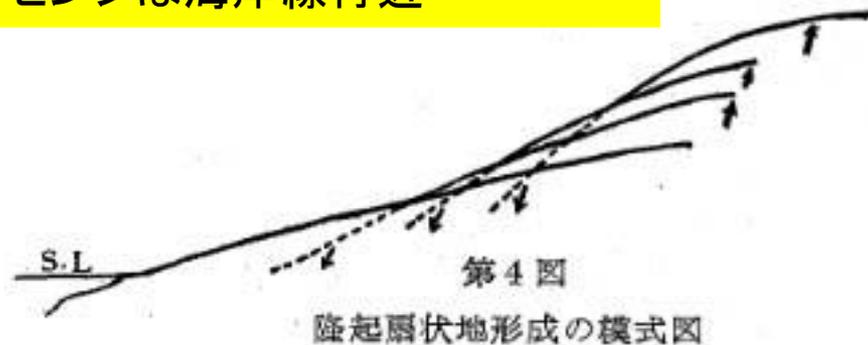
佐藤比呂志

中越沖～金沢沖の震源断層の矩形モデル



魚津周辺の扇状地の累積的な変動

扇状地が累積的に海側に傾動
ヒンジは海岸線付近

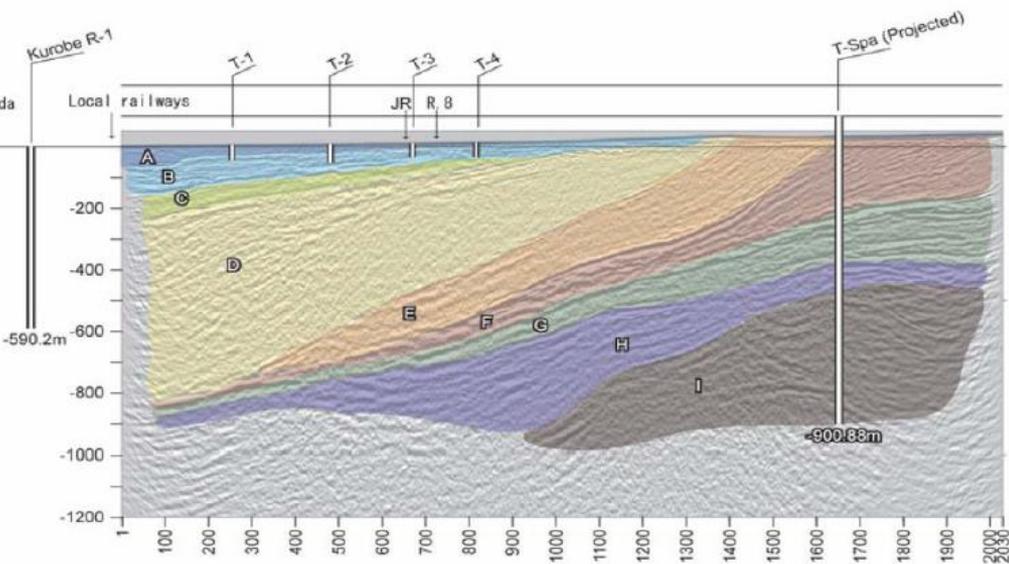
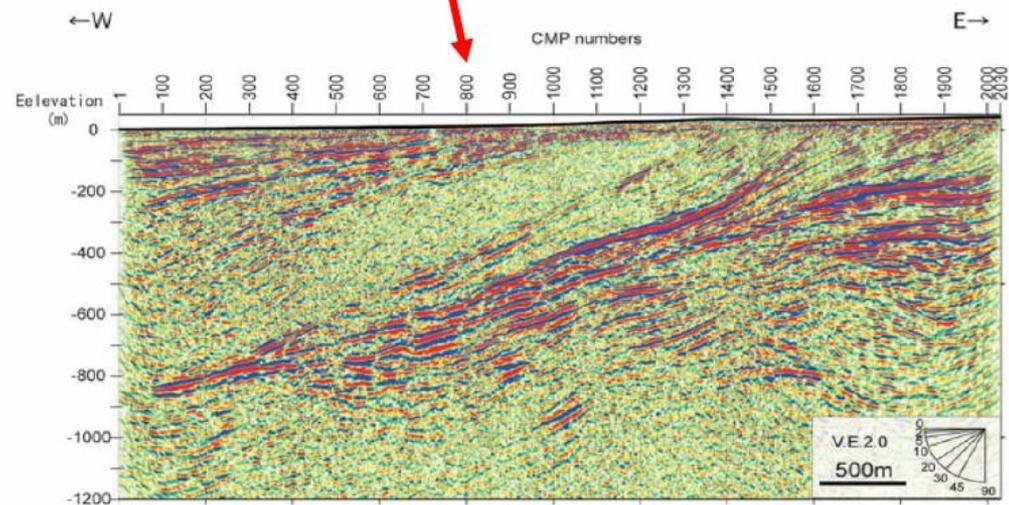


第1図 越中の山麓における洪積世以降堆積面の地形区分

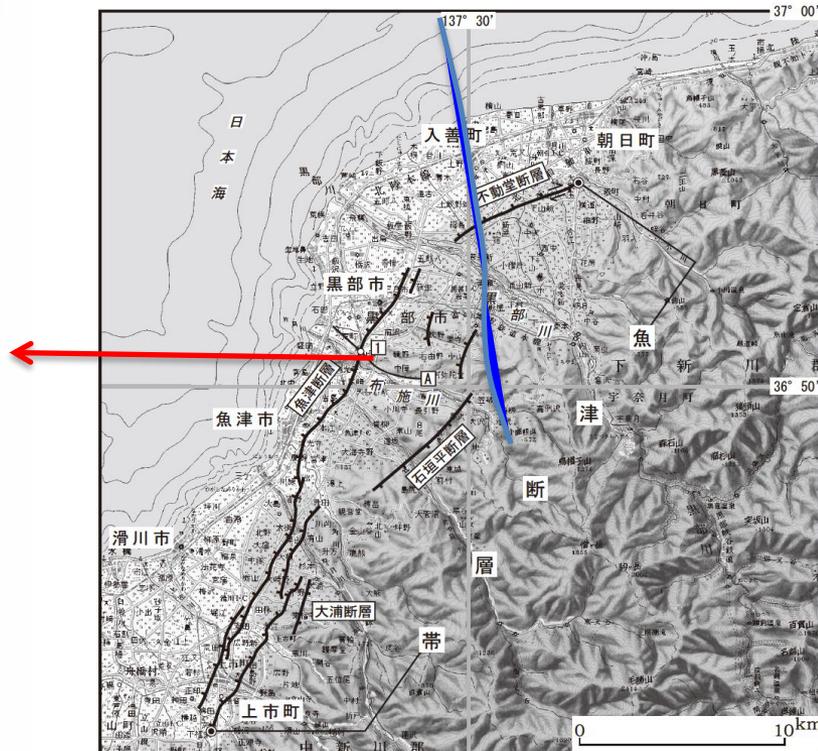


深井(1956,地理評)

今泉ほか（2003）が示した活断層（伏在部）の位置



日本海PJの測線（次ページ）



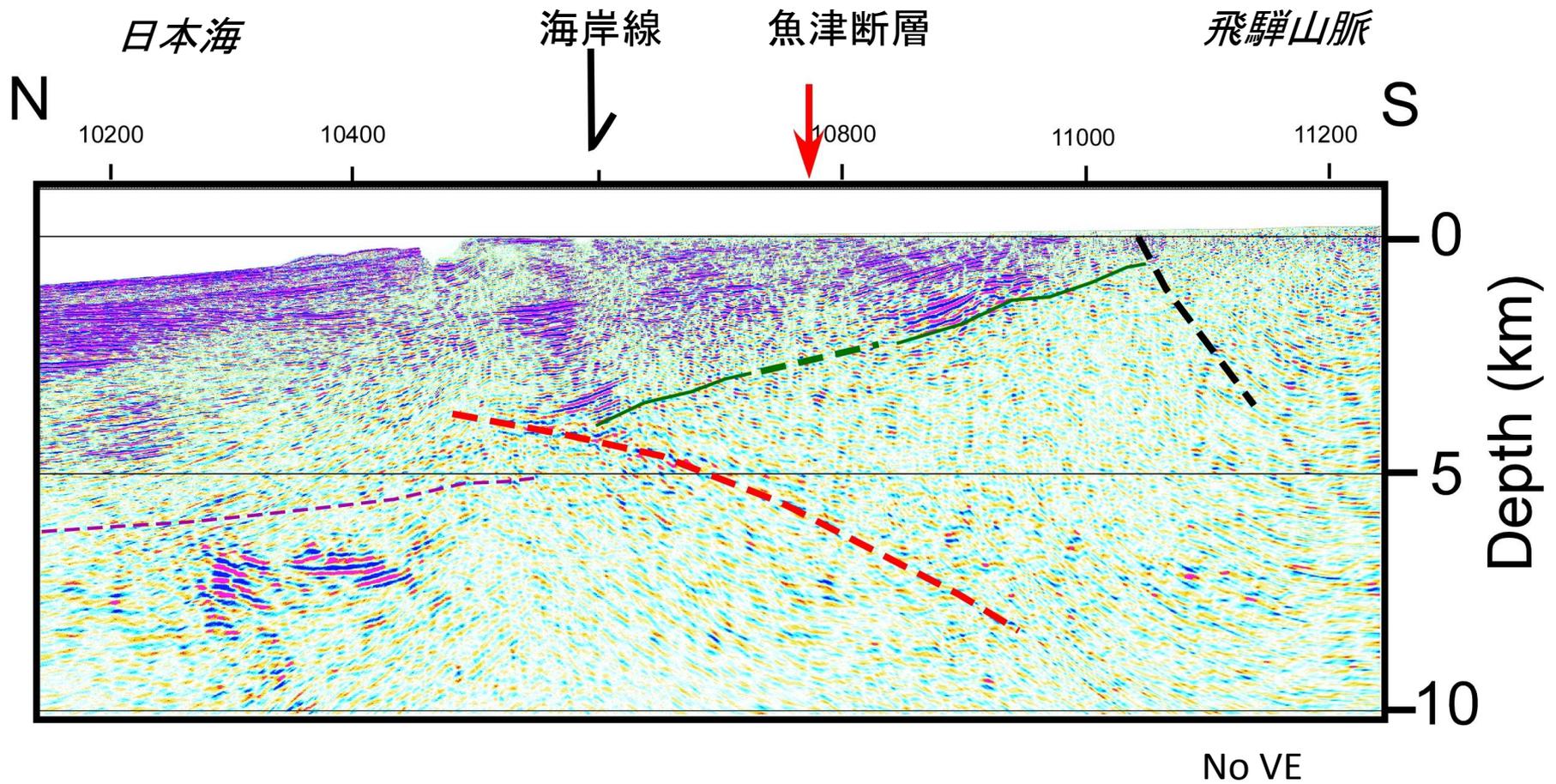
反射面が連続し、大規模な断層はない。
低下側でも反射面の傾斜が変化せず。

【研究グループのコメント】

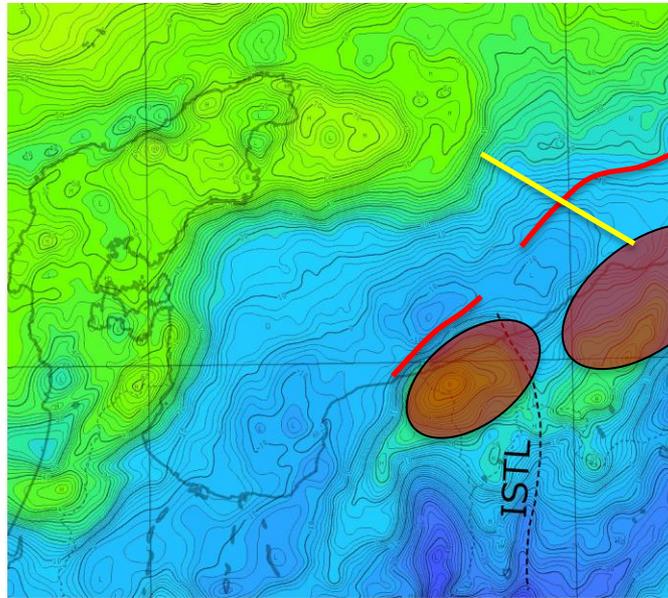
図3 布施川右岸の反射法弾性波探査測線と解釈図
(産業技術総合研究所, 2006に一部加筆)

地震調査委員会(2007)による

日本海PJでの反射法地震探査測線

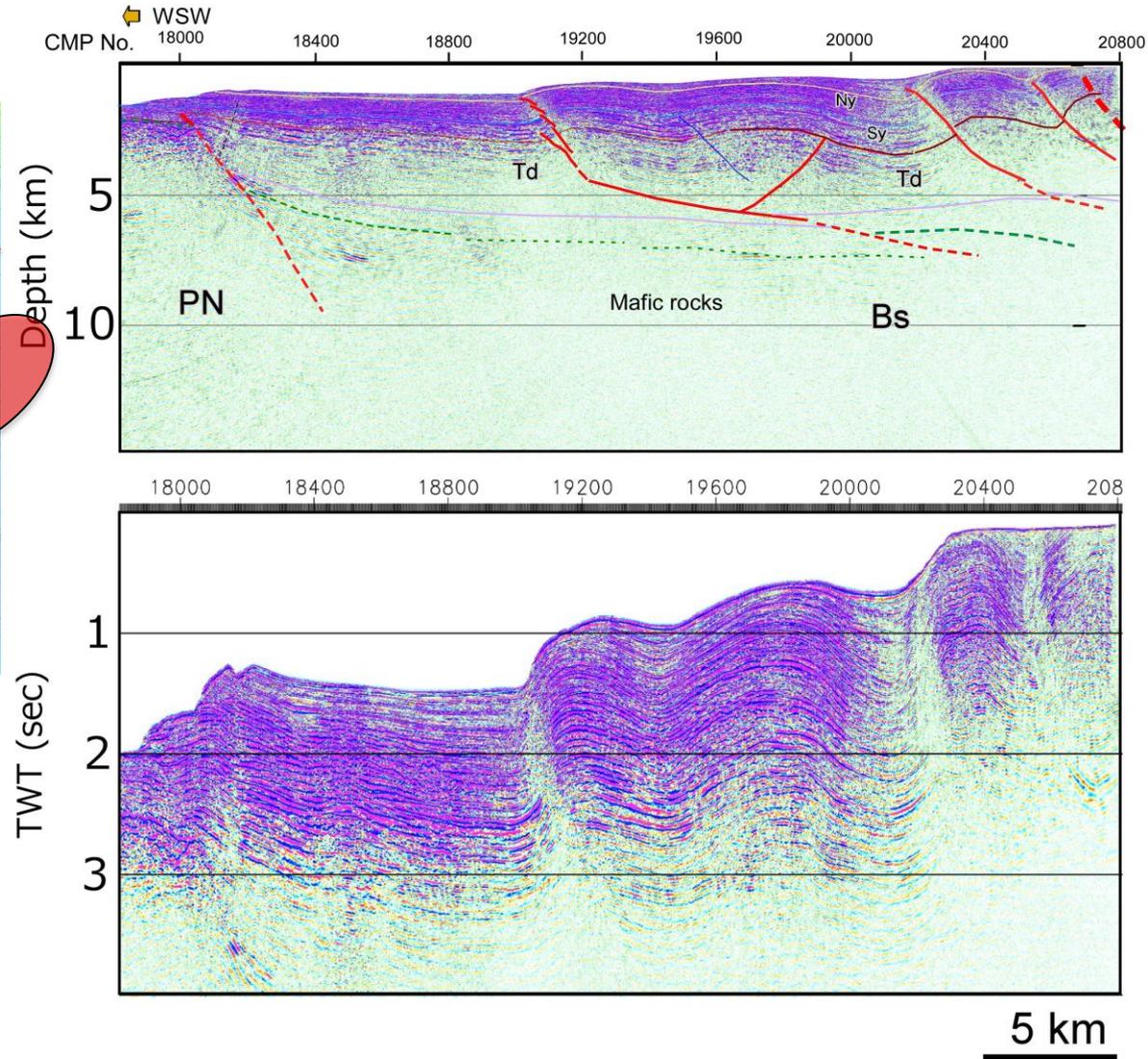


糸魚川沖の断層の連動性

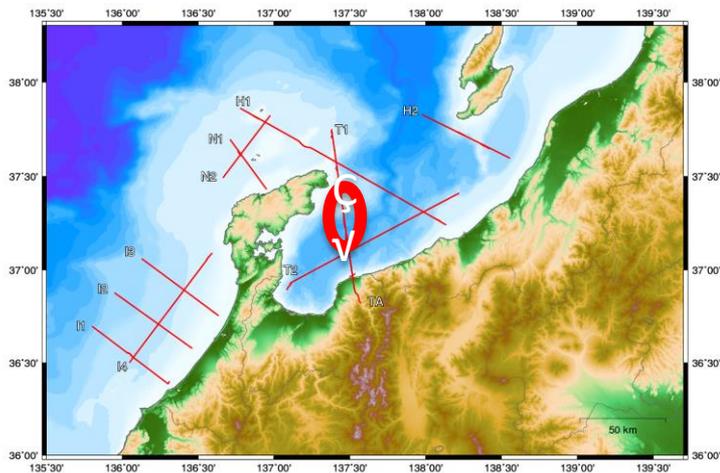
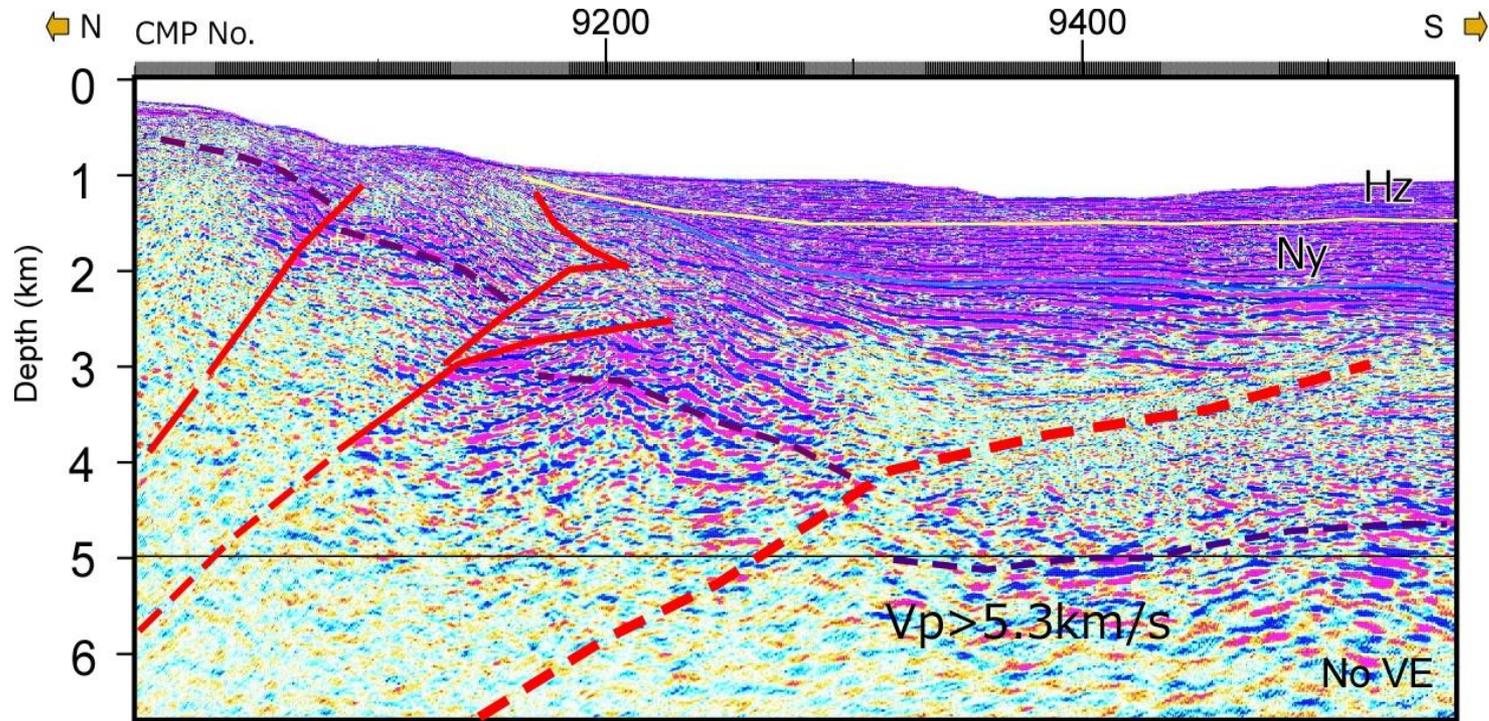


富山湾周辺のブーゲ異常
産総研(2013)

高田沖と糸魚川沖の断層
の推定震源域は連続しない



能登半島南東沖の断層



H_z: 灰爪層相当、N_y: 西山層相当、紫色波線: P波速度が5.3 km/sより大きい領域。